Genie®
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

S-3200

S320011D-0101 から

S-3800

S380011D-0101 から

CE

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
First Edition
Fourth Printing
Part No. T111109JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、弊社にお問い合わせください。

お問合せ先:

インターネット:www.genielift.com

E メール:awp.techpub@terex.com

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 3
一般的な安全 5
作業員の安全 8
作業場の安全 9
説明 16
操作パネル 17
点検 25
操作手順 38
輸送および持ち上げの手順 44
メンテナンス 47
仕様 50

Copyright © 2011 Terex Corporation

第 1 版：第 4 刷 2013 年 4 月

「Genie」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

CE EC の公式指示 2006/42/EC に準拠しています。
EC 適合宣言を参照してください。

はじめに

所有者、ユーザー、およびオペレータ:

弊社の装置をお選びいただきありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。装置のユーザーまたはオペレータとして次の点を実施いただくことによって、安全に大きく貢献いただけると考えます。

1 従業員規則、作業現場の規則、および法規に**従う**。

2 **本マニュアルなど、装置に付属して**いるマニュアルの指示を読み、理解して従う。

3 **作業場における一般的な**安全管理を行う。

4 **訓練を受けたオペレータあるいは承認されたオペレータのみが、**事情に通じ知識が豊富な監督の指示を受けながら機械を操作する。



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ー 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

危険

回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

警告

回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

要注意

回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意

物品の損傷に関するメッセージです。

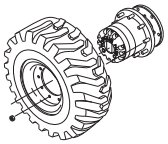
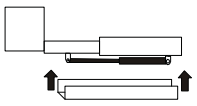
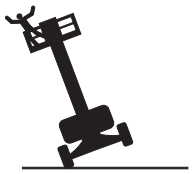
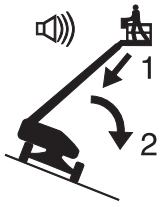
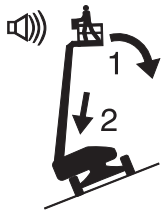
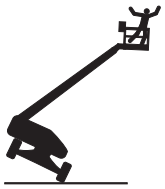
用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

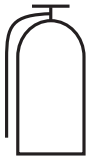
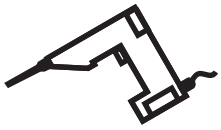
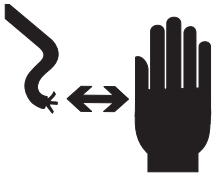
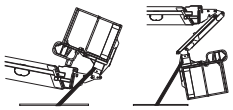
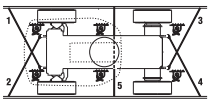
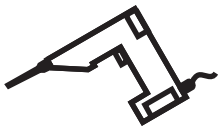
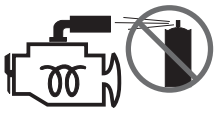
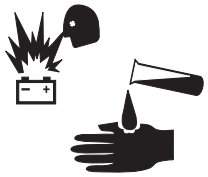
安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

シンボルと危険を表すイラストの定義

				
挟まる危険	可動部に近づかないでください	爆発の危険	禁煙. 火気厳禁. エンジン停止	感電の危険
				
必要な間隔を維持してください	挟まる危険	移動する作業台の軌道に入らないでください	落下の危険	この面に乗らないでください
				
適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	操作説明書を読んでください	同様の仕様のタイヤと交換してください。	機械を操作する前に、延長シリンダーカバーを交換してください。	転倒の危険
	上昇中に傾斜アラームが鳴った場合の復元手順 			
転倒の危険	下り傾斜にある作業台: 1 ブームを収縮します。 2 ブームを下ろします。	上り傾斜にある作業台: 1 ブームを下ろします。 2 ブームを収縮します。	転倒の危険	落下の危険

シンボルと危険を表すイラストの定義

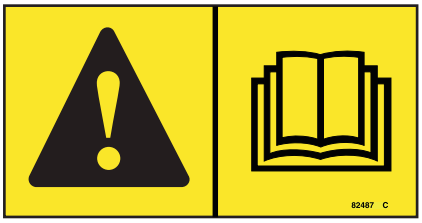
				
安全帯の取り付け場所	車輪荷重	火災の危険	近くに消火器を用意してください。	作業台への電力の定格電圧
				
感電の危険	接触を避ける	荷締めの手順	荷締めの手順	作業台への空気配管の定格圧力
				
爆発の危険	グロープラグを搭載した機械に、エーテルなどの高エネルギーな始動補助剤を使用しないでください。	爆発/やけどの危険	炎を近づけないでください	サービスマニュアルを読んでください
				
踏まない				

一般的な安全

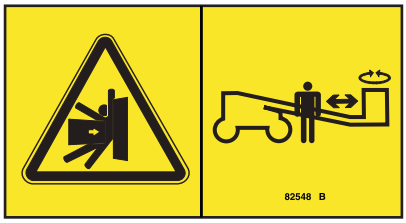
82472



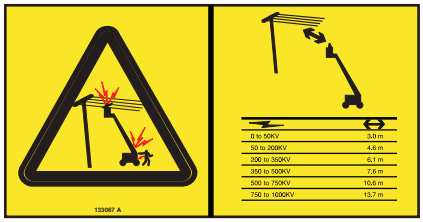
82487



82548



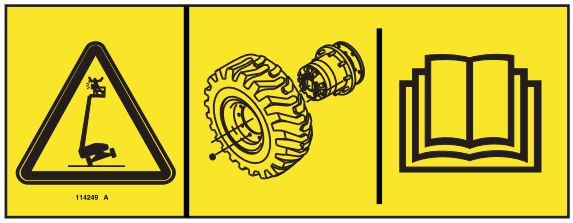
133067



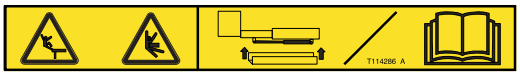
114252

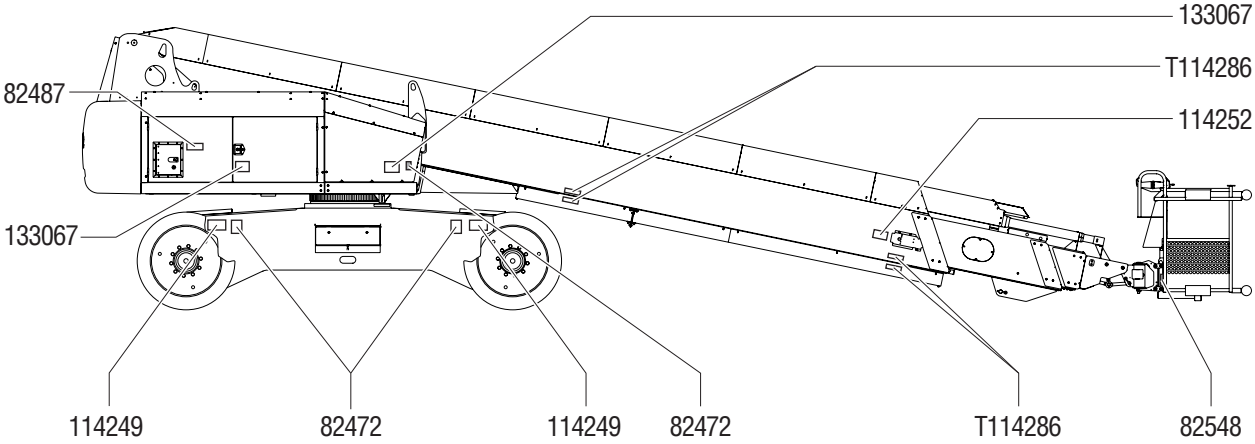


114249

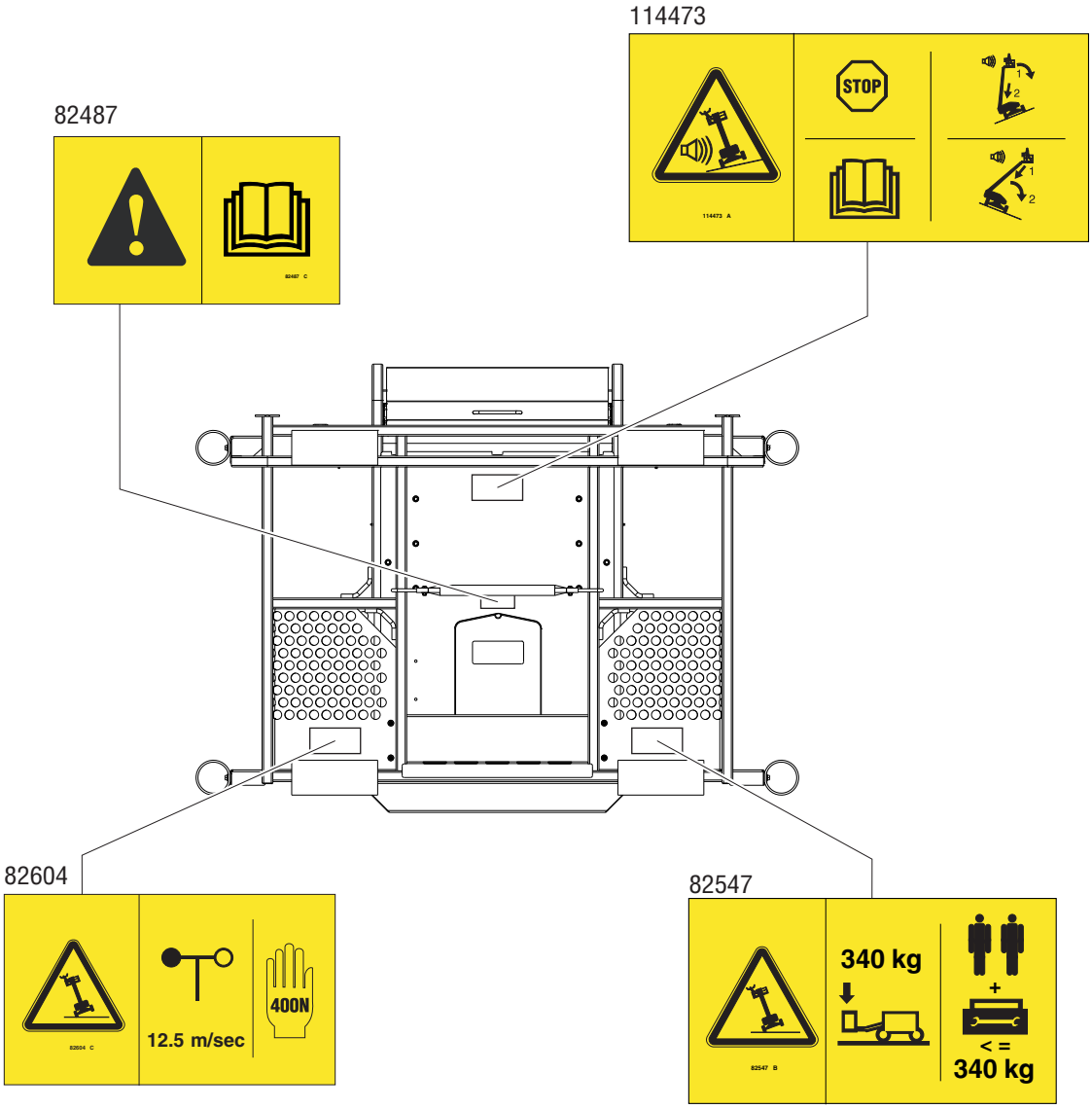


T114286

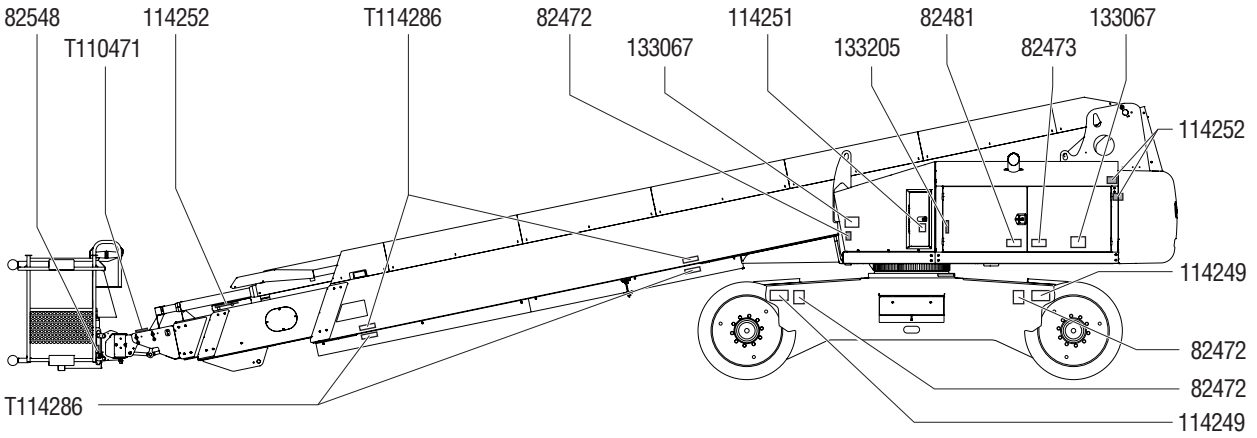




一般的な安全



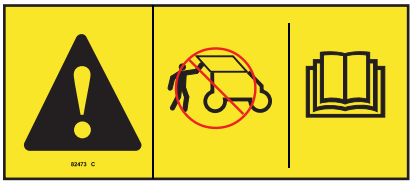
一般的な安全



82472



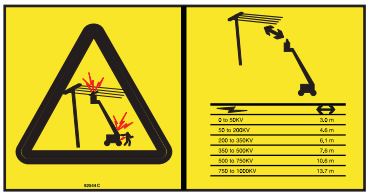
82473



82481



133067



82548



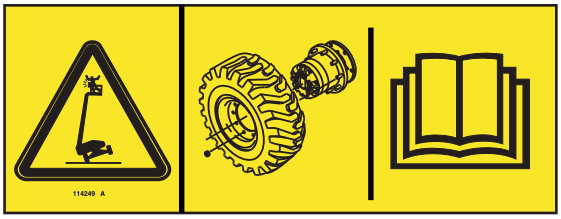
114251



133205



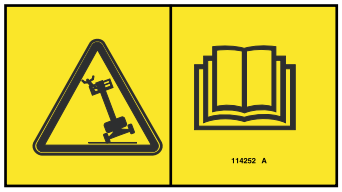
114249



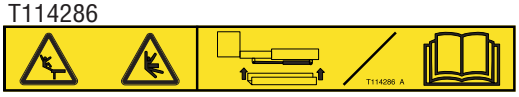
T110471



114252



T114286



作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

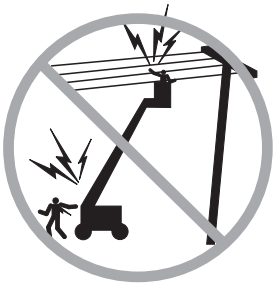
この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧	必要な距離
0 ～ 50KV	3.05 m
50 ～ 200KV	4.60 m
200 ～ 350KV	6.10 m
350 ～ 500KV	7.62 m
500 ～ 750KV	10.67 m
750 ～ 1000KV	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	340 kg
最大作業員数	2

定格作業台最大積載荷重量には、パイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

付属品を使用する場合には、付属品に付いているステッカー、指示およびマニュアルをよく読んで理解し、従ってください。



機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは延長しないでください。

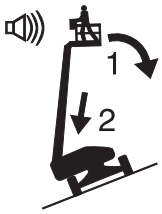


水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

作業場の安全

ブームが下降しているときに傾斜アラームが鳴った場合には、ブームを水平より高く延長、旋回、あるいは上昇させないでください。作業台を上昇させる前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

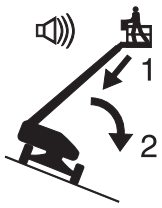
作業台を上昇させるときに傾斜アラームが鳴った場合には、最新の注意を払ってください。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。



作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを下ろします。

2 ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを収縮します。

2 ブームを下ろします。



風速が秒速 12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。秒速 12.5 m 以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。

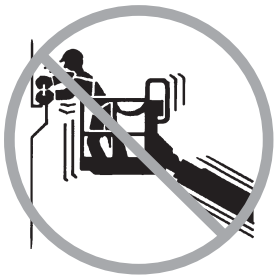
機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大許容外圧力 – 400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

作業場の安全

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

空気タイヤを使用しないでください。これらの機械はソリッドタイヤを装備しています。ホイールの重量は、安定性に大きな影響を及ぼします。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが締められていることを確認してください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

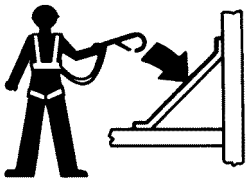
機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大定格勾配、収納状態、2WD		
作業台が下り傾斜にある場合	25%	(14°)
作業台が上がり傾斜にある場合	25%	(14°)
横勾配	25%	(14°)
最大定格勾配、収納状態、4WD		
作業台が下り傾斜にある場合	40%	(22°)
作業台が上がり傾斜にある場合	40%	(22°)
横勾配	25%	(14°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

作業場の安全

⚠ 落下の危険



作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



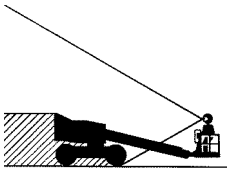
作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置および後方車体の揺れに注意してください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業場の安全

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。



ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道内においてブームを操作する場合は、必ずクレーンの制御をロックし、衝突を防ぐための予防措置を講じてください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

補助延長シリンダーカバーが適切に取り付けられていない状態で機械を操作しないでください。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

LP ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでぐださい。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル製スプレーをかけないでください。

作業場の安全

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

⚠ 部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

非常に磁気の高い場所が近くに存在するような現場では、機械を操作しないでください。

⚠ バッテリーの安全管理

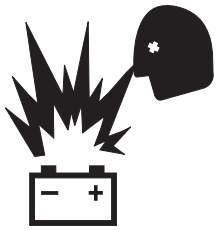
やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険







火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。

バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

感電/やけどの危険

電気端子に触れないでください。

作業場の安全

⚠ 高所作業台における保護規約

高所作業台の保護用具の最大重量は 11.5kg で、作業台の総重量から差し引く必要はありません。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。高所作業台の保護用具の重量が 11.5kg を超える場合には、機械の定格作業台積載荷重量を減らし、作業台全体の重量を考慮しなければなりません。

高所作業台の保護用具の重量によっては、作業台での最大作業人数が制限される場合があります。

高所作業台の保護用具は作業台に備え付けられた装着ポイントに固定してください。

作業台への出入りが妨げられないようにしてください。

作業台操作や赤色の緊急停止ボタンの操作が妨げられないようにしてください。

高所作業台の保護用具を使用しての移動に関するあらゆる危険について、すべて適切に指示され、認識している場合以外は、操作を行わないでください。

⚠ 低位置作業台における保護規約

低位置作業台の保護用具の最大重量は 13kg で、作業台の総重量から差し引く必要はありません。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。低位置作業台の保護用具の重量が 13kg を超える場合には、機械の定格作業台積載荷重量を減らし、作業台の全体の重量を考慮しなければなりません。

低位置作業台の保護用具の重量によっては、作業台での最大作業人数が制限される場合があります。

低位置作業台の保護用具は作業台に備え付けられた装着ポイントに固定してください。

作業台への出入りが妨げられないようにしてください。

作業台操作や赤色の緊急停止ボタンの操作が妨げられないようにしてください。

高所作業台の保護用具を使用しての移動に関するあらゆる危険について、すべて適切に指示され、認識している場合以外は、操作を行わないでください。

使用後のロックアウト

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

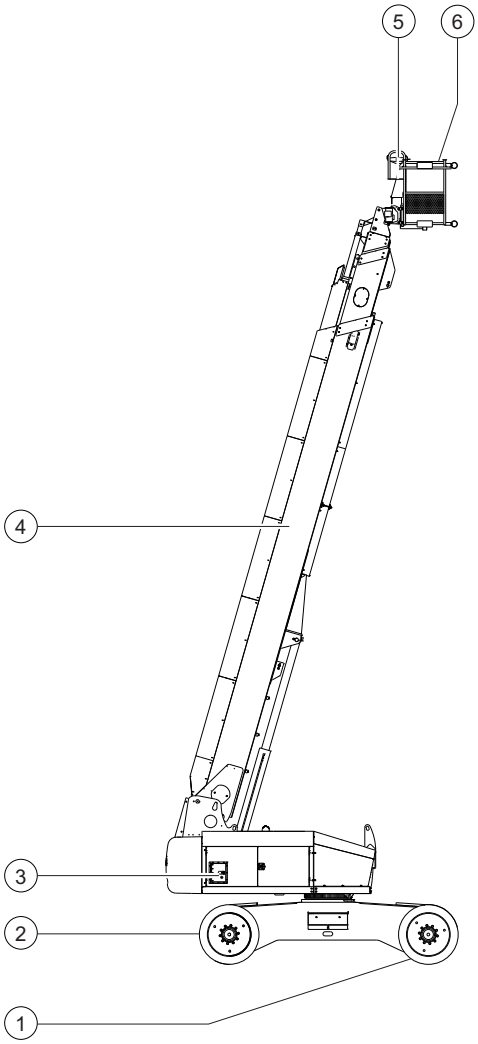
2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

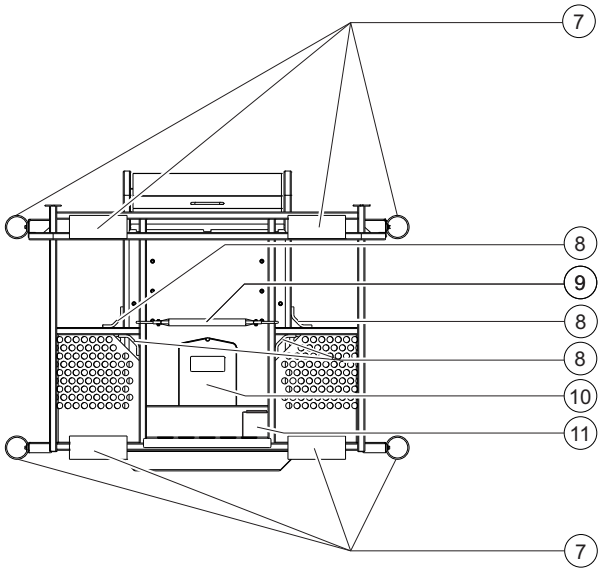
3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

4 キースイッチを OFF (オフ) の位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

5 輪止めをかまします。

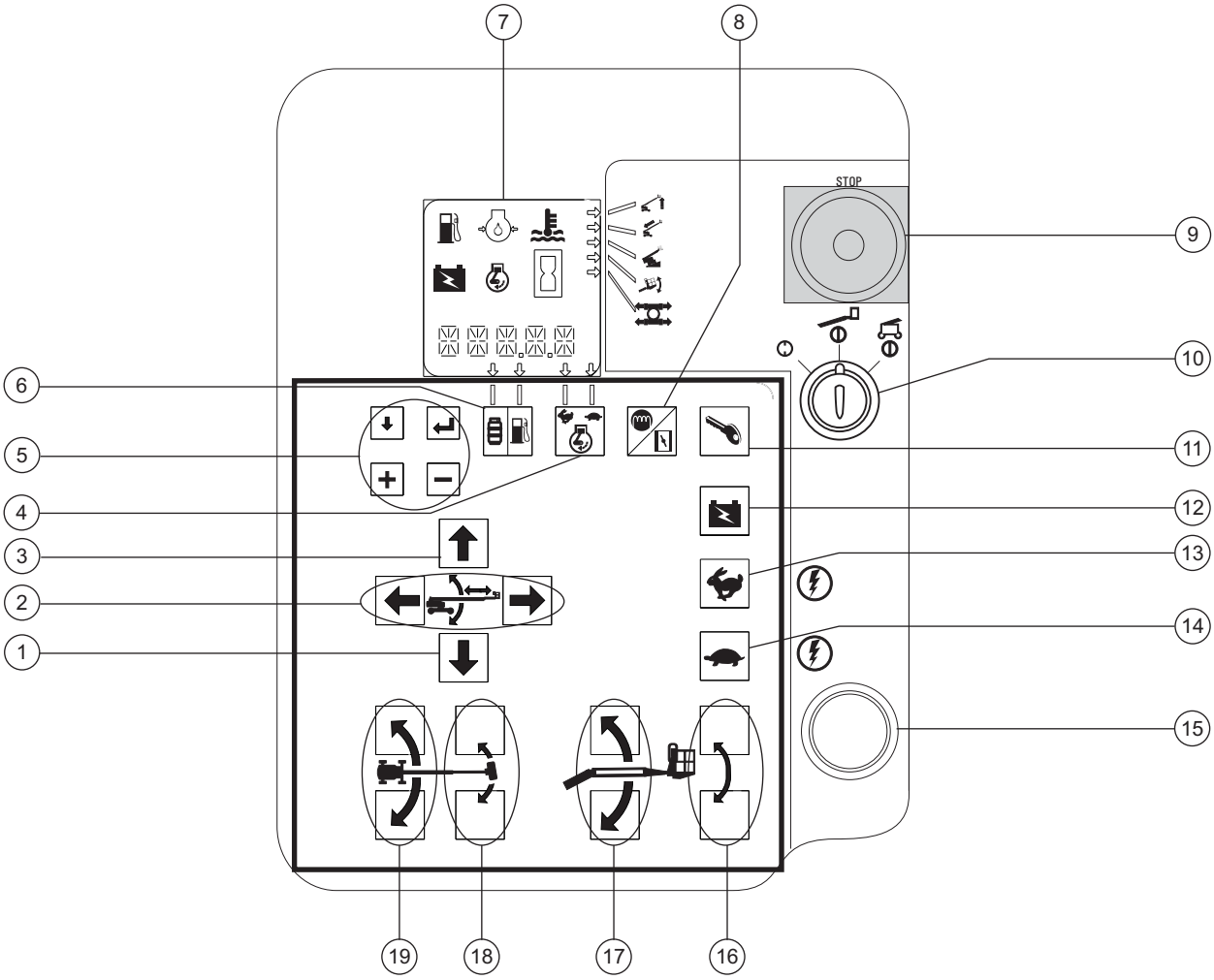
説明





1 非操舵側タイヤ
2 操舵輪
3 地上操作パネル
4 ブーム
5 作業台操作パネル
6 作業台
7 作業台バンパー
8 安全帯固定場所
9 スライド式中間レール
10 マニュアル保管場所
11 ペダルスイッチ

操作パネル



地上操作パネル

1 ブーム下降ボタン
2 ブーム延長/収縮ボタン
3 ブーム上昇ボタン
4 エンジン速度選択ボタン
5 LCD 画面操作ボタン
6 未使用
7 LCD 出力画面
8 ディーゼルモデル: グロープラグ ボタン
ガソリン/LPG モデル: チョークボタン
9 赤色非常停止ボタン
10 オフ/作業台/地上操作選択用キースイッチ
11 エンジン始動ボタン
12 非常動力ボタン
13 高速機能作動ボタン
14 低速機能作動ボタン
15 アラーム
16 作業台レベル上昇/下降ボタン
17 未使用
18 作業台左/右回転ボタン
19 ターンテーブル左/右回転ボタン

操作パネル

地上操作パネル

1 ブーム下降ボタン

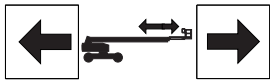
ブーム下降ボタンを押すと、ブームが下降します。



2 ブーム延長/収縮ボタン

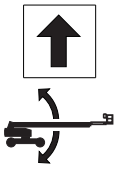
ブーム延長ボタンを押すと、ブームが延長します。

ブーム収縮ボタンを押すと、ブームが収縮します。



3 ブーム上昇ボタン

ブーム上昇ボタンを押すと、ブームが上昇します。



4 エンジン速度選択ボタン

エンジン速度選択ボタンを押して、エンジン速度を選択します。ウサギの上の矢印が点灯すると、エンジンは高速アイドリング状態にあります。カメの上の矢印が点灯すると、エンジンは低速アイドリング状態にあります。

5 LCD 画面操作ボタン

6 未使用

7 LCD 出力画面



- a 低燃料表示器
- b エンジンオイル圧力表示器
- c 水温表示器
- d 補助動力表示器
- e 高エンジン回転数表示器
- f 時間計

8 ディーゼルモデル: グロープラグ ボタン
ガソリン/LPG モデル: チョークボタン

グロープラグボタンを 3～5 秒押したままにします。

9 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

10 オフ/作業台/地上操作選択用キースイッチ

キースイッチを OFF (オフ) の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを地上位置に回すと、地上操作が作動します。

11 エンジン始動ボタン

エンジン開始ボタンを押して、エンジンを開始します。

操作パネル

12 非常動力ボタン

主動力源（エンジン）が始動しない場合に、非常動力を使用します。
非常動力ボタンを押し続けながら、必要な機能を作動させます。

13 高速機能作動ボタン

高速機能作動ボタンを押すと、地上操作パネルの機能を高速で操作できます。

14 低速機能作動ボタン

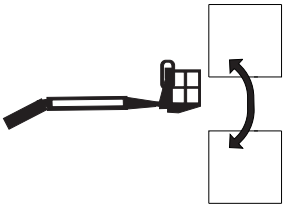
低速機能作動ボタンを押すと、地上操作パネルの機能を低速で操作できます。

15 アラーム

16 作業台レベル上昇/下降ボタン

作業台レベル上昇ボタンを押すと、作業台が上に移動します。

作業台レベル下降ボタンを押すと、作業台が下に移動します。

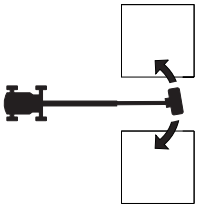


17 未使用

18 作業台左/右回転ボタン

作業台左回転ボタンを押すと、作業台が左に回転します。

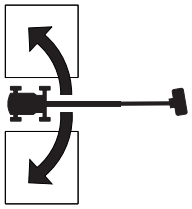
作業台右回転ボタンを押すと、作業台が右に回転します。



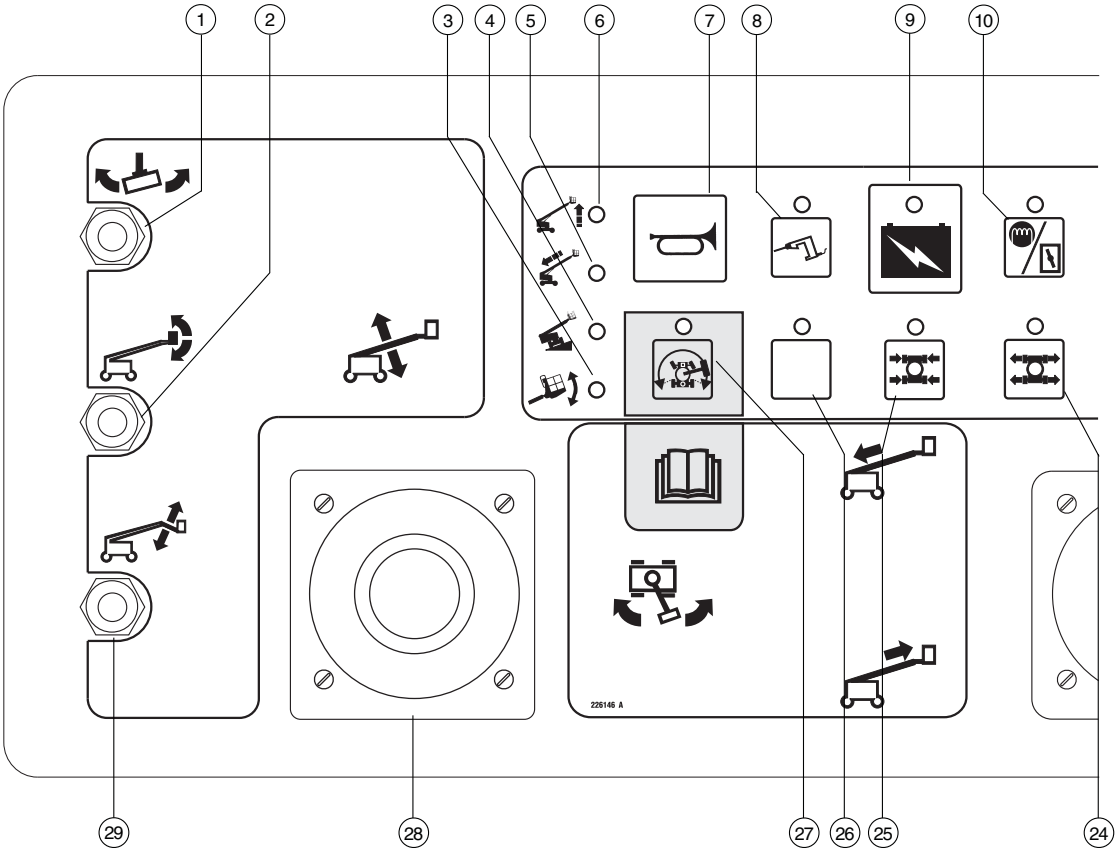
19 ターンテーブル左/右回転ボタン

ターンテーブル左回転ボタンを押すと、ターンテーブルが左に回転します。

ターンテーブル右回転ボタンを押すと、ターンテーブルが右に回転します。



操作パネル

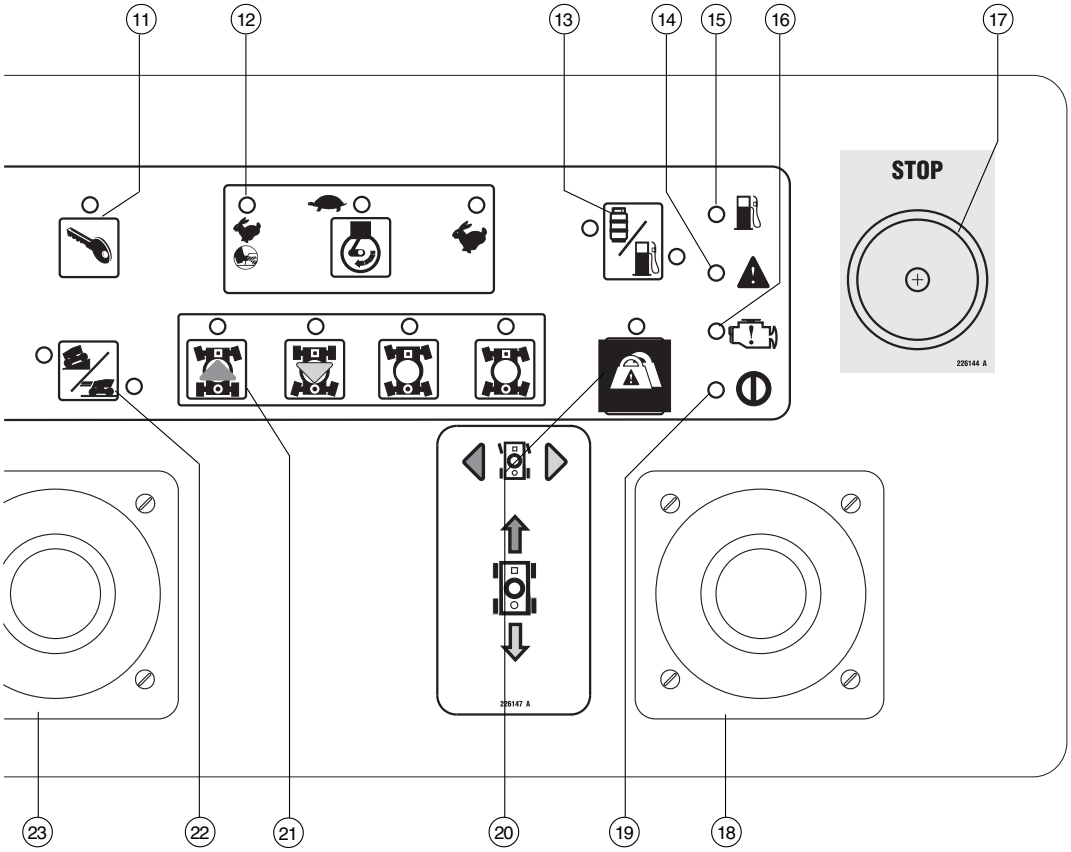


作業台操作パネル

1 作業台回転スイッチ
2 作業台水平スイッチ
3 作業台非水平表示ランプ
4 非水平表示ランプ
5 ブーム収縮表示ランプ
6 ブーム上昇表示ランプ
7 ホーンボタン
8 未使用
9 表示ランプ付き非常動力ボタン
10 ディーゼルモデル: 表示ランプ付きグロープラグボタン
ガソリン/LPG モデル: 表示ランプ付きチョークボタン
11 表示ランプ付きエンジン始動ボタン
12 表示ランプ付きエンジン アイドリング（rpm）選択ボタン
- ウサギスイッチ&とペダルスイッチ: ペダルスイッチによる高速アイドリング開始
- カメのシンボル: 低速アイドリング
- ウサギのシンボル: 高速アイドリング

13 未使用
14 障害表示ランプ
15 低燃料表示ランプ
16 エンジン点検表示ランプ
17 赤色非常停止ボタン

操作パネル



18 走行および操舵機能用ダブル車軸比例コントロール ハンドル
もしくは 走行機能用比例コントロール ハンドルおよび操舵機能用ロッカースイッチ

19 動力表示ランプ

20 作業台過負荷表示ランプ

21 表示ランプ付き操舵モード選択ボタン

22 表示ランプ付き走行速度選択ボタン:
傾斜面上の機械シンボル:
傾斜用の狭範囲運転
水平面上の機械シンボル:
最大走行速度用の広範囲運転

23 ブーム延長/収縮機能用単車軸比例コントロール ハンドル

24 表示ランプ付き車軸延長ボタン

25 表示ランプ付き車軸収縮ボタン

26 オプション装備用

27 表示ランプ付き走行機能ボタン

28 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回機能用、ダブル車軸比例コントロール ハンドル

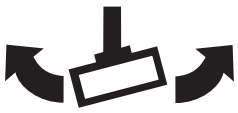
29 未使用

操作パネル

作業台操作パネル

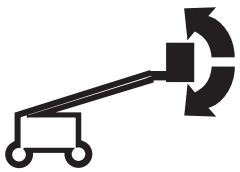
1 作業台回転スイッチ

作業台回転スイッチを右に動かすと、作業台が右に回転します。作業台回転スイッチを左に動かすと、作業台が左に回転します。



2 作業台水平スイッチ

作業台水平スイッチを上に動かすと、作業台が上昇します。作業台水平スイッチを下に動かすと、作業台が下に移動します。



3 作業台非水平表示ランプ

作業台が水平でない場合にランプが点灯します。傾斜アラームが鳴ります。作業台水平スイッチは、作業台を水平にする方向にのみ動作します。作業台を水平にしてランプを消灯させます。

4 非水平表示ランプ

傾斜アラームが鳴っている間ランプが点灯します。平らな地面に機械を移動してください。

5 ブーム収縮表示ランプ

下降を続けるには、表示ランプが消えるまでブームを収縮させます。

6 ブーム上昇表示ランプ

延長を続けるには、表示ランプが消えるまでブームを上昇させます。

7 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

8 未使用

9 表示ランプ付き非常動力ボタン

主動力源（エンジン）が始動しない場合に、非常動力を使用します。
非常動力ボタンを押したままで、ペダルスイッチを踏みます。必要な機能を作動させます。非常動力が使用されている間、表示ランプが点灯します。

10 ディーゼルモデル: 表示ランプ付きグロープラグボタン

グロープラグボタンを 3～5 秒押したままにします。グロープラグが使用されている間、グロープラグ表示ランプが点灯します。

ガソリン/LPG モデル: 表示ランプ付きチョークボタン

チョークボタンを 3～5 秒押したままにします。チョークが使用されている間、チョーク表示ランプが点灯します。

11 エンジン始動ボタン

エンジン開始ボタンを押して、エンジンを開始します。ボタンを押している間、エンジン始動ボタン表示ランプが点灯します。

操作パネル

12 表示ランプ付きエンジン アイドリング（rpm）選択ボタン

このボタンを押すと、エンジン アイドリング速度設定が選択されます。現在の設定の横にある表示ランプが点灯します。

13 未使用

14 障害表示ランプ

機械に障害が発生した場合にランプが点灯します。障害とは、コンポーネントの故障やシステムの誤用による異常な状態のことです。適切なサービスマニュアルを参照してください。

15 低燃料表示ランプ

機械の燃料が低下した場合にランプが点灯します。

16 エンジン点検表示ランプ

エンジンが故障した場合にランプが点灯します。

17 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

18 走行および操舵機能用ダブル車軸比例コントロール ハンドル
もしくは 走行機能用比例コントロール ハンドルおよび操舵機能用ロッカースイッチ.

操作パネルの青色矢印の方向にコントロールハンドルを動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。コントロールハンドルを青色三角の方向へ動かすと、機械が左側に曲がります。コントロール ハンドルを、黄色の三角形の方向に動かすと、機械が右に曲がります。
もしくは
コントロール ハンドルを操作パネルの青色の矢印の方向に動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

19 動力表示ランプ

赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にしているときにランプが点灯します。

20 作業台過負荷表示ランプ

作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。エンジンが止まると、すべての機能は作動しません。ランプが消えるまで、重量を減らしてください。その後エンジンを再始動します。

操作パネル

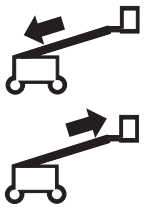
21 表示ランプ付き操舵モード選択ボタン

操舵モード選択ボタンを押して操舵モードを選択します。現在の操舵モードの横にある表示ランプが点灯します。

22 表示ランプ付き走行速度選択ボタン:

走行機能選択ボタンを押して、走行設定を選択します。現在の設定の横にある表示ランプが点灯します。

23 ブーム延長/収縮機能用単車軸比例コントロール ハンドル



コントロール ハンドルを上に動かすと、ブームが収納されます。

コントロール ハンドルを下に動かすと、ブームが延長されます。

24 表示ランプ付き車軸延長ボタン

車軸選択ボタンを押して、車軸を延長します。車軸が延長している間、表示ランプは点滅します。車軸が完全に延長されると点灯に変わります。

25 表示ランプ付き車軸収縮ボタン

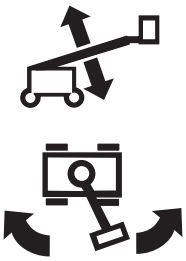
車軸収縮ボタンを押して、車軸を収縮します。車軸が収縮している間、表示ランプは点滅します。車軸が完全に収納されると点灯に変わります。

26 オプション装備用

27 表示ランプ付き走行機能ボタン

表示ランプがオンになると、主ブームが丸印側のホイールを超えて移動し、走行機能がオフになったことを意味します。走行するには、走行機能ボタンを押し、走行コントロール ハンドルを中央位置からゆっくり動かします。

28 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回機能用、ダブル車軸比例コントロール ハンドル



コントロール ハンドルを上に動かすと、ブームが上昇します。コントロール ハンドルを下に動かすと、ブームが下降します。

コントロール ハンドルを右に動かすと、ターンテーブルが右に回転します。コントロールハンドルを左に動かすと、ターンテーブルが左に回転します。

29 未使用

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

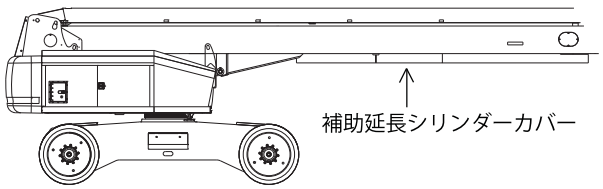
以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ 走行とターンテーブル用のモーター、および走行ハブ
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ リミットスイッチと警報
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。



- ❑ 補助の延長シリンダーカーバーが適切に取り付けられていることを確認してください。
- ❑ 点検が終了後、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。

⊙ 結果:LCD 画面が点灯し、エラーがないことを示すメッセージが表示されます。ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。

注記:寒い状況では、LCD 出力画面が温まって表示が現れるまでに時間がかかります。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

作動油リターンフィルターのテスト

7 エンジン アイドリング速度選択ボタンを、高速アイドリング (ウサギのマーク) の横にある表示ランプが点灯するまで押したままにします。

8 タンク側のターンテーブルカバーを持ち上げ、作動油フィルター状態を示す表示ランプを見つけ、チェックします。

⊙ 結果:緑色の表示ランプが点灯します。

9 タンク側のターンテーブルカバーをしっかりと閉めます。

10 エンジン アイドリング速度選択ボタンを、低速アイドリング (カメのマーク) の横にある表示ランプが点灯するまで押したままにします。

拡張可能な車軸のテスト

注記:このテストは車軸を収納した状態で行います。

11 地上操作では、機能作業/速度ボタンを押し続け、ブーム上昇ボタンを押します。



⊙ 結果:ブームは水平から 10°まで上昇し、停止しなければなりません。両方の車軸が延長されていない場合には、ブームはリミットスイッチの上まで上昇してはいけません。



12 機能作動/速度選択ボタンを押し続け、ブーム下降ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは下降し、収納位置に戻らなければなりません。

13 機能作動/速度選択ボタンを押し続け、ブーム延長ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは延長されません。

14 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。地上操作では、ペダルスイッチを踏み、走行コントロール ハンドルを前方向に動かし、車軸延長ボタンを押します。



⊙ 結果:機械は走行し、車軸は延長しなければなりません。車軸が移動している間、表示ランプは点滅します。車軸が完全に延長されると点灯に変わります。

注記:車軸延長機能は、機械の作動中にのみ動作します。

点検

15 地上操作に戻ります。キースイッチを回して地上操作に切り替えます。機能作動/速度選択ボタンを押し続け、ブーム上昇ボタンを押し、次にブーム下降ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは上昇し、通常通り下降しなければなりません。

16 地上操作では、機能作業/速度選択ボタンを押し続け、ブーム延長ボタンを押し、次にブーム収縮ボタンを押します。

⊙ 結果:ブームは延長し、通常通り収納されなければなりません。

機械機能のテスト

17 機能作動/速度選択ボタンを押したままにしないでください。ブームおよび作業台の各機能ボタンが作動するか試行します。

⊙ 結果:ブームおよび作業台の機能は何も作動しません。

18 機能作動/速度選択ボタンを押したままにすると、ブームおよび作業台の各機能のボタンが有効になります。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります。

非常操作のテスト

19 キースイッチを回して地上操作にし、エンジンを停止します。

20 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

21 非常動力ボタンを押したままにした状態で、各ブーム機能ボタンを押す、もしくは各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。



注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブーム機能が作動します。

傾斜センサーのテスト

22 TURNTABLE LEVEL SENSOR X-DIRECTION (ターンテーブル レベルセンサー X 方向) と表示されるまで、いずれかの LCD 画面コントロール ボタンを押します。





⊙ 結果:LCD 画面に角度が表示されます。

23 TURNTABLE LEVEL SENSOR Y-DIRECTION (ターンテーブル レベルセンサー Y 方向) と表示されるまで、LCD 画面コントロール ボタンを押します。

⊙ 結果:LCD 画面に角度が表示されます。

24 PLATFORM LEVEL SENSOR DEGREES と表示されるまで、LCD 画面コントロール ボタンを押します。

⊙ 結果:LCD 画面に角度が表示されます。

点検

動作包絡面のテスト

25 表示されている LCD 画面ボタンを押しながら解除し、ステータスモードを作動させます。




26 BOOM ANGLE と表示されるまで、いずれかの表示されている LCD 画面 コントロールボタンを押します。




27 ブームを上げて LCD 画面を確認します。

⊙ 結果:LCD 画面は次のように表示されなければなりません。
< 10
>= 10
>= 53
> 68

28 BOOM LENGTH（ブーム長さ）と表示されるまで、いずれかの表示されている LCD 画面コントロールボタンを押します。




29 ブームを延長し LCD 画面を確認します。

⊙ 結果:LCD 画面は次のように表示されなければなりません。
at 0
> 0
> 75
= 100
> 100

30 ブームを収縮します。

作業台操作

非常停止のテスト

31 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

32 作業台の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

33 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

警報のテスト

34 ホーンボタンを押します。

35 結果:ホーンが鳴ります。

傾斜センサーアラームのテスト

36 エンジン RPM スイッチもしくは燃料選択ボタンなどのボタンを押します。

⊙ 結果:作業台操作でアラームが鳴ります。

点検

ペダルスイッチのテスト

37 作業台の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

38 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。エンジンは始動しないでください。

39 ペダルスイッチを押したままにし、エンジン始動ボタンを押してエンジンを始動してみます。

⊙ 結果 : エンジンは始動しません。

40 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを再始動します。

41 ペダルスイッチを踏まずに各機械機能をテストします。

⊙ 結果 : 機能は何も作動しません。

機械機能のテスト

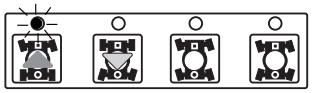
42 ペダルスイッチを踏みます。

43 各機能コントロール ハンドル、トグルスイッチ、もしくはロッカースイッチを作動します。

⊙ 結果 : すべての機能がフルサイクル作動します。

ステアリングのテスト

44 操舵モード選択ボタンを押して四角形印側 (青色矢印) の操舵を選択します。



45 ペダルスイッチを踏みます。

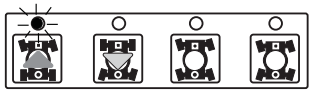
46 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果 : 四角形印側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

47 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果 : 四角形印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

48 操舵モード選択ボタンを押して丸印側 (黄色矢印) の操舵を選択します。



49 ペダルスイッチを踏みます。

50 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

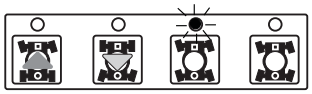
⊙ 結果 : 丸印側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

点検

51 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果:丸印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

52 操舵モード選択ボタンを押してクラブ操舵を選択します。



53 ペダルスイッチを踏みます。

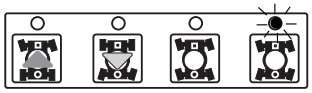
54 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果:すべてのホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。

55 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを黄色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果:すべてのホイールが走行シャーシ上の黄色の三角が示す方向に回ります。

56 操舵モード選択スイッチを押して座標操舵を選択します。



57 ペダルスイッチを踏みます。

58 走行コントロール ハンドルを操作パネルの青色の三角形の方向にゆっくりと動かすか、もしくはロッカースイッチを青色の三角形の方向に押します。

⊙ 結果:四角形印側のホイールが走行シャーシ上の青色の三角形が示す方向に回ります。丸印側のホイールが走行シャーシ上の黄色の三角形が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

59 ペダルスイッチを踏みます。

60 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。

61 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

点検

走行機能システムのテスト

62 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

63 ブームが丸印側のタイヤの 1 つを超えるまで、ターンテーブルを旋回させます。

⊙ 結果:走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間、点灯を続けます。



64 走行コントロール ハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能は作動しません。

65 走行機能ボタンを押し、走行コントロール ハンドルを中央位置からゆっくり動かします。

⊙ 結果:走行機能が作動します。

注記:走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロール ハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。



走行機能ボタンを押してから 2 秒以内に走行コントロール ハンドルを移動しなかった場合には、走行機能は動作しません。

走行制限速度のテスト

66 ペダルスイッチを踏みます。

67 ブームを水平から 10°まで上昇させます。

68 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主要ブームが上昇した状態での最大走行速度は秒速 30 cm を超えてはいけません。

注記:機械は 40 秒間に 12 m 走行します。

69 ブームを下ろし収納します。

70 ブームを 1.2 m 延長します。

71 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主要ブームが延長した状態での最大走行速度は秒速 30 cm を超えてはいけません。

注記:機械は 40 秒間に 12 m 走行します。

ブームを上昇もしくは延長した状態の走行速度が秒速 30 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

72 ブームを水平に上昇させます。ブームをできる限り延長します。

73 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:ブームが完全に延長した状態での最大走行速度は秒速 4.5 cm を超えてはいけません。

注記:機械は 270 秒間に 12 m 走行します。

点検

非常操作のテスト

74 エンジンを停止します。

75 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

76 ペダルスイッチを踏みます。

77 非常動力ボタンを押したままにした状態で、各機能コントロール ハンドル、トグルスイッチまたはボタンを作動させます。



注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

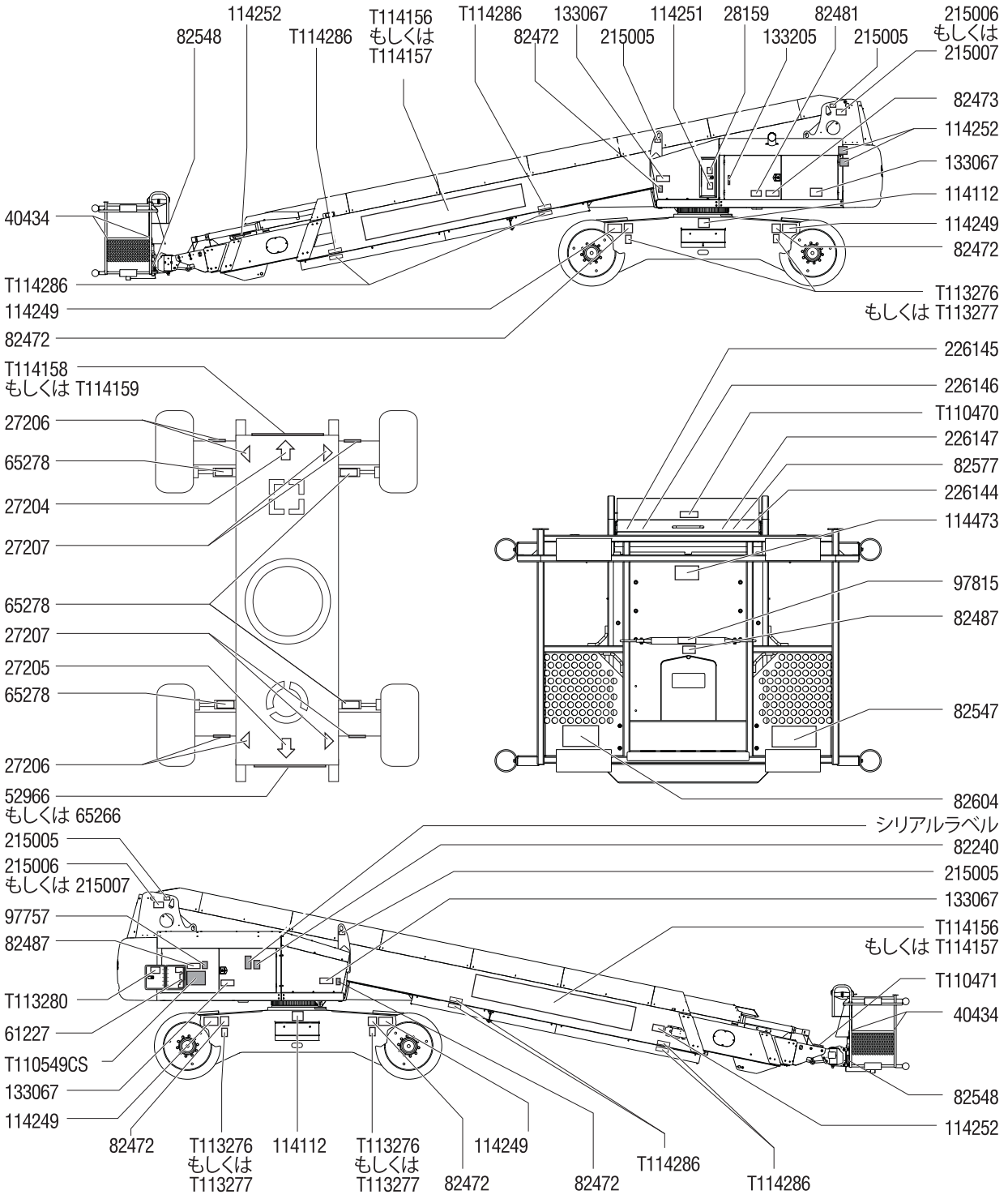
シンボルのついたステッカーの点検

次ページの絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 ー 青色	1
27205	矢印 ー 黄色	1
27206	三角 ー 青色	4
27207	三角 ー 黄色	4
28159	ラベル ー ディーゼル	1
40434	ラベル ー 安全帯固定箇所	4
52966	外装 ー 4 x 2	1
61227	地上操作パネル	1
65266	外装 ー 4 x 4	1
65278	要注意 ー 踏まない	4
82240	ラベル ー 騒音レベル	1
82472	ラベル ー 挟まる危険	6
82473	ラベル ー コンパートメントへのアクセス	1
82481	ラベル ー バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル ー マニュアルを読む	2
82547	ラベル ー 最大積載重量、340 kg	1
82548	ラベル ー 作業台回転	2
82577	ラベル ー 作業台過負荷パッチ	1
82604	ラベル ー 最大外圧、400 N	1
97757	ラベル ー 作動油量	1
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
114112	ラベル ー 輸送図	2
114249	ラベル ー 転倒の危険、タイヤ	4
114251	ラベル ー 爆発の危険	1
114252	ラベル ー 転倒の危険、リミットスイッチ	4
114473	ラベル ー 傾斜アラーム	1
133067	ラベル ー 感電の危険	4
133205	ラベル ー 感電/やけどの危険	1
215005	ラベル ー 吊り上げ点	4
215006	ラベル ー CG およびリフト積載荷重量（S-3200）	2
215007	ラベル ー CG およびリフト積載荷重量（S-3800）	2
226144	ラベル ー 緊急停止、作業台操作	1
226145	ラベル ー ブーム上昇/下降、作業台操作	1
226146	ラベル ー ブーム延長/収納&旋回状態、作業台操作	1
226147	ラベル ー 操舵/走行、作業台操作	1
T110470	ラベル ー 作業台操作を使用していない場合にはカバーを閉じてください	1
T110549CS	ラベル ー 故障コード表（中国のみ）	1
T113276	ラベル ー ホイール荷重、S-3200	4
T113277	ラベル ー ホイール荷重、S-3800	4
T113280	ラベル ー 動作範囲、S-3200 および S-3800	1
T114156	外装 ー Genie S-3200	1
T114157	外装 ー Genie S-3800	1
T114158	外装 ー S-3200	1
T114159	外装 ー S-3800	1
T114286	ラベル ー カバーを取り付ける/マニュアルを読む	8
T114471	ラベル ー 足をのせたり乗ったりしない	1

点検


114252
82548
T114286
T114156
もしくは
T114157
T114286
82472
133067
215005
114251
28159
133205
82481
215005
215006
もしくは
215007
82473
114252
133067
114112
114249
82472
40434
T114286
114249
82472
T113276
もしくは T113277
T114158
もしくは T114159
27206
65278
27204
27207
65278
27207
27205
65278
27206
52966
もしくは 65266
226145
226146
T110470
226147
82577
226144
114473
97815
82487
82547
82604
シリアルラベル
82240
215005
133067
T114156
もしくは T114157
T110471
40434
82548
114252
215005
215006
もしくは 215007
97757
82487
T113280
61227
T110549CS
133067
114249
82472
T113276
もしくは
T113277
114112
T113276
もしくは
T113277
114249
82472
82472
T114286
T114286

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、ON（オン）の位置にあることを確認します。

3 エンジン始動ボタンを押します。



注記：10℃以下の温度の低い条件下では、エンジン始動の前にグロープラグボタンを 10 秒から 20 秒ほど押し続けてください。

エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

15 秒間のクランク後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別して修理してください。60 秒間待ってから、再度始動を試みてください。

-6℃ 以下の寒い状況では、油圧システムの損傷を避けるため、操作の前に 5 分間エンジンを温めてください。

-18℃ 以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。気温 -18℃ 以下の環境でエンジンを始動する場合、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

非常操作

主動力（エンジン）が停止した場合、非常動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。

3 作業台から操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 非常動力ボタンを押したままの状態で、必要な機能を作動させます。



走行機能は、非常動力では作動しません。

操作手順

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。

3 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける

1 機能作動/速度選択ボタンを押したままにします。



2 操作パネルのマークに従って、適切な機能ボタンを押します。



走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

3 エンジンを始動させます。エンジンを始動するときは、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

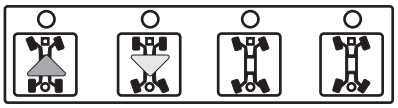
1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロール ハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かすか、適切なボタンを押します。

操舵

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操舵モードボタンを押して操舵モードを選択します。現在の操舵モードの上にある表示ランプが点灯します。



3 走行/操舵コントロール ハンドルを青色もしくは黄色の三角が示す方向にゆっくり動かします。あるいは、走行コントロール ハンドルの先端にあるロッカースイッチを押します。

4 作業台操作および走行シャーシにある色別された矢印マークを見ながら、ホイールの曲がる方向を確認してください。



走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。走行コントロール ハンドルを青色または黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。



速度を下げるには、次の操作を行います。走行コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。走行コントロール ハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは延長した状態での走行速度は制限されています。

操作手順

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、下り傾斜に作業台がある場合 (登坂能力):
2WD:25% (14°)
4WD:40% (22°)



最大定格勾配、上り斜面に作業台がある場合:
2WD:25% (14°)
4WD:40% (22°)



最大定格横勾配:
25% (14°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。登坂能力という用語は、カウンターウェイトの下り斜面の構成の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が丸印側のホイールの間にあることを確認します。

機械が傾斜地にあることを示す記号の横にあるランプが点灯するまで、走行速度選択ボタンを押します。

傾斜勾配の確認

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

下り傾斜の一番下で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ(水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片 ＝ 3.6 m

水平距離 ＝ 3.6 m

高さ ＝ 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 × 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上りもしくは下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜のない場所に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

走行機能



表示ランプがオンになると、ブームが丸印側のタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロール ハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

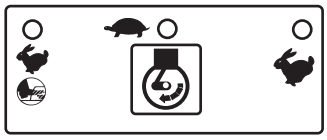
走行機能ボタンを押してから 2 秒以内に走行コントロール ハンドルを動かさなかった場合には、走行機能は動作しません。走行機能ボタンを離して、再度押します。

走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロール ハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

エンジン アイドリング選択 (rpm)

選択ボタンを押して、エンジン アイドリング速度 (rpm) を選択します。現在の設定の横にある表示ランプが点灯します。



- ウサギとペダルスイッチのシンボル：ペダルスイッチによる高速アイドリング開始
- カメのシンボル：低速アイドリング
- ウサギのシンボル：高速アイドリング

エンジンランプのチェック



ランプが点灯し、エンジンが停止した場合、故障の貼り紙をつけて作業を中止してください。

ランプが点灯して、エンジンがまだ作動している場合、24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

動作包絡面表示ランプ

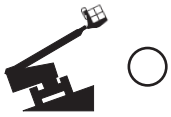
動作包絡面表示ランプは、機能が妨げられた、もしくはオペレータによる処置が必要であることをオペレータに通知するために点灯します。



ブーム上昇表示ランプが点滅している場合は、延長を続けるには、表示ランプが消えるまでブームを上昇させます。



ブーム収縮表示ランプが点滅している場合は、降下を続けるには、表示ランプが消えるまでブームを収縮させます。



機械の非水平表示ランプが点滅している場合は、このランプが点滅している間、傾斜アラームが鳴ります。機械を安定した平坦な地面に移動します。



作業台の非水平表示ランプが点滅している場合は、このランプが点滅している間、傾斜アラームが鳴ります。作業台水平トグルスイッチは、作業台を水平にする方向にのみ動作します。作業台を水平にして表示ランプを消灯させます。

操作手順

作業台過負荷表示ランプ



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。すべての機能が作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。

動作包絡面を超えた場合からの復元

すべての機能が動作を停止している場合には、動作包絡面を超えている可能性があります。

ブーム収縮表示ランプが点滅している場合は、作業台の補助動力ユニットを使用して、表示ランプが消えるまでブームを収縮します。操作を続けるにはエンジンを再始動します。

ブーム上昇表示ランプが点滅している場合は、作業台の非常動力ユニットを使用して、表示ランプが消えるまでブームを上昇します。操作を続けるにはエンジンを再始動します。

作業台の非常動力ユニットが作動しない場合には、地上にいる訓練を受けたオペレータが地上操作で作業台を下降させる必要があります。サービスマニュアルの「サービス バイパス/キースイッチの復元」セクションを参照してください。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが丸印側のホイールの間にくるようにターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチを OFF (オフ) の位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

5 輪止めをかまします。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前に、ターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

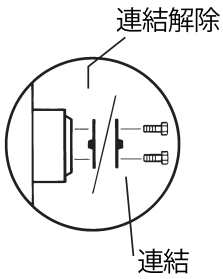
☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイール設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

4 輪すべての走行ハブ取外しキャップを反転させて、ホイールブレーキを解除します。



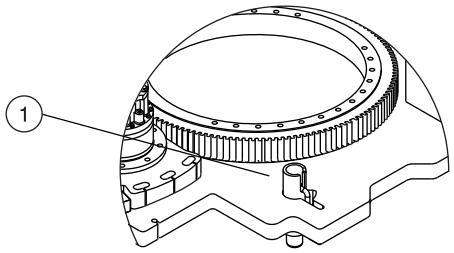
シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

再びブレーキをかけるには逆の手順を行ってください。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送するときは、ターンテーブル旋回ロックピンを必ず使用してください。



1　ターンテーブル旋回ロックピン

輸送の前にキースイッチを OFF（オフ）の位置に回し、キーを取り外してください。

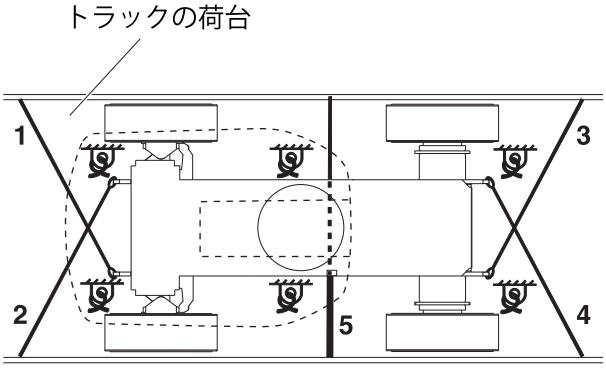
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

シャーシの固定

積載荷重量に十分耐えうるチェーンを使用してください。

チェーンを最低 5 組使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。



作業台の固定

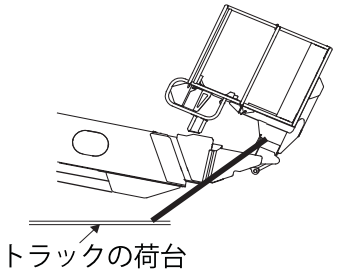
ブームを下ろし収納します。

作業台をできる限り上昇させます。（下記参照）

作業台サポートにある回転装置の横のプレートの間にストラップを通します。

ストラップをトラックの荷台のそれぞれの端に固定します。

作業台はトラックの後ろから一部出た状態で釣り下がっています。



輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ては、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ 承認されたクレーン作業員のみが、適切なクレーン規制のみに従い、機械の持ち上げを行わなければなりません。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

持ち上げの手順

ブームを完全に下げて収縮します。地面と平行にジブブームを動かします（搭載されている場合）。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

ターンテーブル旋回ロックを使い、ターンテーブルを固定してください。

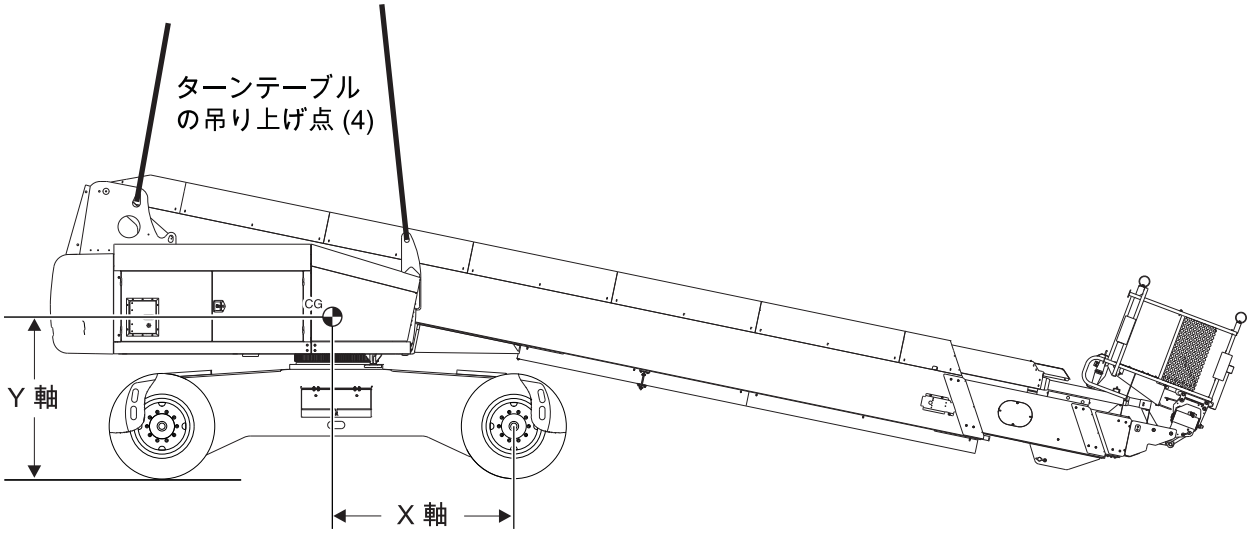
このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。シャーシとターンテブールにそれぞれ 2 箇所吊り上げ点があります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

スプレッドバーを使用して、装具が機械を損傷しないようにしてください。

重心	X 軸	Y 軸
S-3200	1.96 m	1.23 m
S-3800	1.89 m	1.68 m



メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。



この手順を行う場合には、エンジンが冷えた状態になっていなければなりません。

エンジンオイル量の点検



エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

Cummins B3.3C80 エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	10W-30
Deutz TD2011 L04i エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-30

メンテナンス

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油量は表示計の上から 5 センチ内にしなければいけません。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

エンジン冷却液量の点検 ー 液冷モデル

エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化で、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

⚠ やけどの危険。熱くなっているエンジン部分と冷却液に注意してください。熱くなっているエンジン部分や冷却液に触れると、重度の火傷を負うことがあります。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果：液の量は、FULL（満タン）マークを指している必要があります。

注記：ラジエーターのキャップを外さないでください。

メンテナンス

バッテリーの点検

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

S-3200	
高さ、操作時最大	32.5 m
高さ、作業台最大	30.5 m
高さ、収納時最大	3.1 m
水平最大到達距離	22.3 m
幅、車軸収納時	2.5 m
幅、車軸延長時	3.35 m
長さ、作業台収納時	13 m
最大積載荷重	340 kg
最大風速	12.5 m/秒
ホイールベース	3.7 m
最低地上高	35.68 cm
旋回半径、車軸延長時	
2WD 内側	5.13 m
2WD 外側	9.3 m
4WD 内側	2.74 m
4WD 外側	6.05 m
旋回半径、車軸収納時	
2WD 内側	11.13 m
2WD 外側	14.15 m
4WD 内側	4.14 m
4WD 外側	6.58 m
ターンテーブル回転角度(度)	360°連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸延長時	1.22 m
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸収納時	1.68 m
操作パネル	12V DC 比例
作業台寸法(奥行き x 幅)	152 x 76 cm
作業台水平維持	自動水平維持
作業台回転角度	160°
油圧、最大(走行機能)	293 バール
システム電圧	12V
振動値は 2.5 m/s^2 を超過しません。	
タイヤ サイズ、ソリッド ラバー タイヤ	385/65 D22.5
最低地上高	35.6 cm
燃料タンク容量	240 リットル
重量	18,035 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

走行速度	
走行速度、収納時 ー すべてのモデル	4.8 km/時 12.2 m/9.1 秒
走行速度、上昇時または延長時 ー すべてのモデル	1.1 km/時 12.2 m/40 秒
走行速度、完全に延長された状態 ー すべてのモデル	0.6 km/時 12.2 m/70 秒

最大定格勾配、収納状態、2WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	25%	14°
カウンターウェイト下がり傾斜	25%	14°
横勾配	25%	14°

最大定格勾配、収納状態、4WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	40%	22°
カウンターウェイト下がり傾斜	40%	22°
横勾配	25%	14°

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	99 dBA
作業台での音圧レベル	87 dBA
保証された音響レベル	105 dBA

床荷重表	
最大輪荷重	9,885 kg
タイヤ接地圧	7.4 kg/cm^2 724 kPa
車体占有面の平均圧力、車軸延長時	1,162 kg/m^2 11.4 kPa
車体占有面の平均圧力、車軸収納時	1,542 kg/m^2 15.1 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

S-3800		
高さ、操作時最大		38.6 m
高さ、作業台最大		36.6 m
高さ、収納時最大		3.2 m
水平最大到達距離		22.3 m
幅、車軸収納時		2.5 m
幅、車軸延長時		3.35 m
長さ、作業台収納時		13 m
最大積載荷重		340 kg
最大風速		12.5 m/秒
ホイールベース		3.7 m
最低地上高		35.6 cm
旋回半径、車軸延長時		
2WD	内側	5.62 m
	外側	9.78 m
4WD	内側	2.74 m
	外側	6.05 m
旋回半径、車軸収納時		
2WD	内側	12.90 m
	外側	18.98 m
4WD	内側	4.14 m
	外側	6.58 m
ターンテーブル回転角度(度)		360°連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸延長時		1.22 m
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、車軸収納時		1.68 m
操作パネル		12V DC 比例
作業台寸法(奥行き x 幅)		152 x 76 cm
作業台水平維持		自動水平維持
作業台回転角度		160°
油圧、最大(走行機能)		293 バール
システム電圧		12V
振動値は 2.5 m/s^2 を超過しません。		
タイヤ サイズ、ソリッド ラバー タイヤ		445/65 D22.5
最低地上高		35.6 cm
燃料タンク容量		240 リットル
重量		20,548 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

走行速度	
走行速度、収納時 ー すべてのモデル	4.8 km/時 12.2 m/9.1 秒
走行速度、上昇時または延長時 ー すべてのモデル	1.1 km/時 12.2 m/40 秒
走行速度、完全に延長された状態 ー すべてのモデル	0.6 km/時 12.2 m/70 秒

最大定格勾配、収納状態、2WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	25%	14°
カウンターウェイト下がり傾斜	25%	14°
横勾配	25%	14°

最大定格勾配、収納状態、4WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	40%	22°
カウンターウェイト下がり傾斜	40%	22°
横勾配	25%	14°

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	99 dBA
作業台での音圧レベル	87 dBA
保証された音響レベル	105 dBA

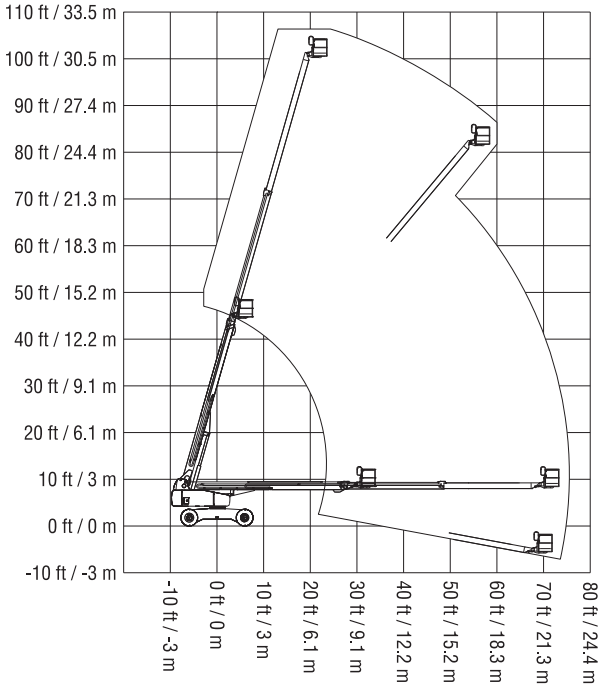
床荷重表	
最大輪荷重	11,302 kg
タイヤ接地圧	7.4 kg/cm^2 724 kPa
車体占有面の平均圧力、車軸延長時	1,303 kg/m^2 12.8 kPa
車体占有面の平均圧力、車軸収納時	1,729 kg/m^2 17 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

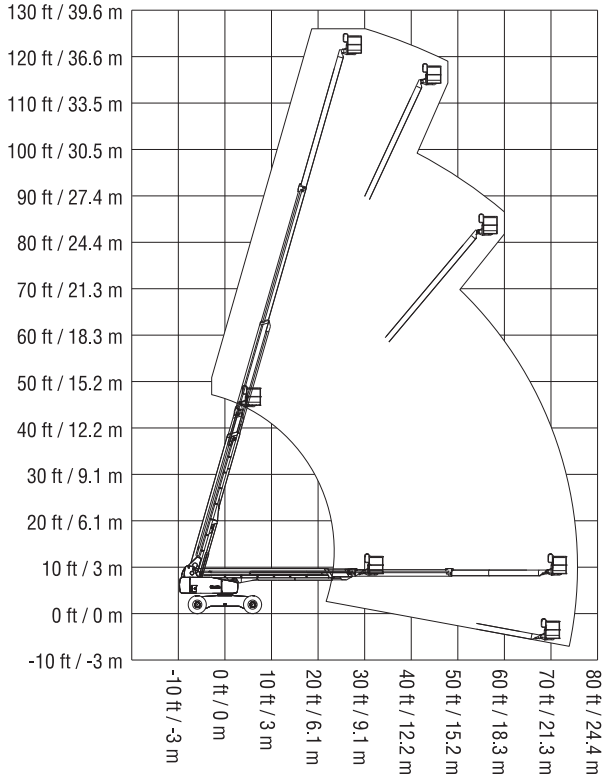
Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

S-3200 動作範囲表



S-3800 動作範囲表



代理店

www.genielift.com